

青谷の古代山陰道が語るもの

重要な発見が相次ぐ青谷の古代山陰道。古代山陰道は、いつ誰が何のためにつくったのか？行き交う人々は何を伝え、何をもたらしたか？古代国家が整備した交通システムは地方社会をどう変えたのか？1300年の時を超え、姿を現した古代山陰道が語るものとは？



養郷新林道跡で発見された丘陵上の古代山陰道



養郷宮之脇道跡のつづら折りの古代山陰道

特別講演



「日本古代の交通と地方社会」

いち ひろき

市 大樹（大阪大学大学院教授）

文学博士。日本古代史が専門。因幡国古代山陰道発掘調査委員会委員。文献史料のみならず、木簡など出土文字資料から駅伝制など古代の交通制度について研究。

著書に『すべての道は平城京へ 古代国家の〈支配の道〉』（吉川弘文館、2011年）、『日本古代都鄙間交通の研究』（塙書房、2017年）など多数。

日時：令和2年11月14日（土）

午後1時30分～3時40分（開場：午後1時～）

場所：日置谷体育館

〒689-0519 鳥取県鳥取市青谷町奥崎388

※駐車場：日置谷地区公民館

定員：100名（事前申込制）※裏面に申込用紙あり

申込先：鳥取県埋蔵文化財センター

〒680-0151 鳥取市国府町宮下1260番地

TEL 0857-27-6711 FAX 0857-27-6712

メール maibuncenter@pref.tottori.lg.jp

ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/>

13:30 開会

13:35～14:05

調査報告「青谷の古代山陰道—最新の発掘調査成果—」
坂本 嘉和（鳥取県埋蔵文化財センター）

14:10～15:30

特別講演「日本古代の交通と地方社会」
市 大樹（大阪大学大学院教授）

15:40 閉会

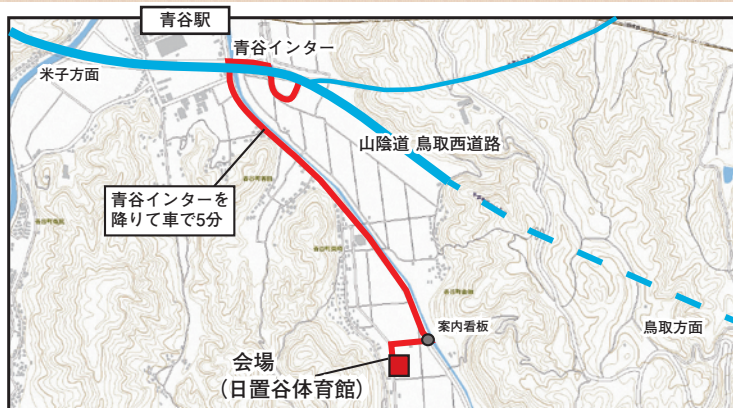
～新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお願い～

- ・会場ではマスクの着用をお願いします。
 - ・入退場時における検温、手指の消毒、洗浄にご協力ください。
 - ・発熱などの症状のある方や体調不良の方はご遠慮ください。
 - ・接触確認アプリ（COCOA）の事前ダウンロードをお願いします。
- ※新型コロナウイルスの感染状況によっては順延または中止となる場合があります。

会場へのアクセス

自動車：鳥取西道路青谷インターから日置方面へ2.2km（約5分）

公共機関：JR青谷駅から 日置線小畑行 バス停「奥崎上」下車、徒歩1分



会場案内図



主催 鳥取県埋蔵文化財センター

協力 鳥取市教育委員会・鳥取市青谷町総合支所・日置谷地区公民館

**鳥取県埋蔵文化財センター特別講演会
お申込み用紙**

送信先：鳥取県埋蔵文化財センター

F A X 番号 0 8 5 7 - 2 7 - 6 7 1 2 （番号間違いに御注意ください）

御名前 (参加される方全員)	御住所 (市町村まで)	電話・FAX (日中連絡が取れる連絡先)

※いただいた個人情報は、本イベントに関する事以外には使用しません。
なお、新型コロナウイルス感染時の対応として保健所に情報提供する場合がありますので
ご了承ください。